

入札公告

物品調達等及び委託役務

次のとおり、条件付一般競争入札を実施するので、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の6の規定により公告する。

この入札公告に定めるもののほか、入札に関して必要な事項は、東広島市物品調達等及び委託役務条件付一般競争入札公告共通事項及び同細則による。

平成30年4月26日

東広島市長 高垣 廣徳

1 入札に付する事項

- | | |
|-----------------|---|
| (1) 物品・委託役務の名称 | 平成30年度東広島市生涯学習センター及びコミュニティハウス空気調和設備保守点検業務 |
| (2) 物品・委託役務管理番号 | 13300002 |
| (3) 物品委託役務内容 | 生涯学習センター4施設と西志和コミュニティハウスの空気調和設備の保守点検を行う。 |
| (4) 納入・履行期間 | 契約締結日の翌日から平成31年3月31日まで |
| (5) 納入・履行（就業）場所 | 生涯学習センター（志和、黒瀬、豊栄、安芸津）、西志和コミュニティハウス |
| (6) 予定価格 | 非公表 |
| (7) 最低制限価格 | なし |
| (8) 入札方式 | 一般競争入札 |
| (9) 入札区分 | 紙入札 |
| (10) 使用する契約約款 | 業務委託契約約款（役務の提供を受けるもの） |
| (11) 契約種別 | 総価契約 |
| (12) 収入印紙 | 要 |

2 競争入札に参加する者に必要な資格に関する事項

次に掲げる要件を全て満たしていること。

ア	平成29年1月1日～平成32年12月31日までの東広島市物品役務等競争入札参加資格として次の入札参加資格認定区分の認定を受けている者	建築保全>空調ダクト清掃<日常>点検
イ	法令等による登録等	問わないものとする。
ウ	技術者	問わないものとする。
エ	営業所等所在地 ※本店とは、法人にあっては登記されている本店とし、個人事業者にあっては営業活動の本拠を置いている場所とする。 ※営業所とは、法人においてその所在する市（町）の法人市（町）民税の申告のある営業所とする。	東広島市内に本店を有する者。
オ	会社の履行実績	問わないものとする。
カ	その他	平成29年4月1日付け「東広島市物品調達等及び委託役務条件付一般競争入札公告共通事項」の2（1）のいずれにも該当しないこと。

3 その他の入札条件

- (1) 東広島市空気調和設備保守点検業務共通標準事項を適用する。

4 日程等

手続き等	期間・期日等	場所・留意事項
ア 公告日	平成30年4月26日	東広島市ホームページに掲載及び東広島市総務部契約課（契約担当課）で閲覧に供する。 閲覧場所は「6 問い合わせ先（契約担当課）」に記載のとおり。
イ 仕様書及び見本等閲覧期間	平成30年4月26日～ 平成30年5月21日	東広島市ホームページに掲載及び契約担当課で閲覧に供する。 見本等の有無：無
ウ 同等品確認期間（物品の買入れ及び借入れに限る）		同等品で応札する場合は、同等品規格確認票（東広島市物品調達等及び委託役務競争契約入札心得（平成21年東広島市告示第83号。以下「入札心得」という。）別記様式第2号（第4条関係）により発注担当課へ持参またはファックスすること。ファックスする場合は、その旨を発注担当課へ事前に電話連絡すること。 なお、同等品確認に対する認定のない同等品での応札は認めない。同等品規格確認票の提出先は、「オ 質問書提出期間」に記載の発注担当課とする。
エ 同等品確認回答閲覧期間		東広島市ホームページに掲載及び発注担当課で閲覧に供する。
オ 質問書提出期間	平成30年4月26日～ 平成30年5月8日 (午前8時30分～午後5時15分)	質問書は、本市所定の様式（東広島市物品調達等及び委託役務競争入札心得（平成21年東広島市告示第83号）別記様式第1号（第4条関係））により発注担当課へ持参またはファックスすること。ファックスする場合は、その旨を発注担当課へ事前に電話連絡すること。 市教育委員会生涯学習部 生涯学習課（発注担当課） 東広島市西条栄町8番29号（本庁北館2階） 電話番号 082-420-0979 /ファックス番号 082-422-1610 質問書提出期間終了後の質問は受け付けない。 質問書の様式は東広島市ホームページからダウンロードできる。
カ 回答書閲覧期間	平成30年5月11日～ 平成30年5月21日	東広島市ホームページに掲載及び発注担当課で閲覧に供する。
キ 入札期間	平成30年5月17日～ 平成30年5月18日 (午前8時30分～午後5時15分)	入札場所 東広島市総務部契約課（契約担当課） 東広島市西条栄町8番29号（本庁本館4階） 入札書は入札期間内に総務部契約課に持参して入札箱に投入すること。 初度の入札書は、入札の権限を有している者が記名押印し、使用印鑑として本市に届け出ている印鑑を押印すること。（ただし、入札書に記載した日付以前に作成された委任状の同封・提出がある場合を除く。） 特別の事由により郵便により入札書を提出しようとする者は、東広島市物品調達等及び委託役務条件付一般競争入札公告共通事項細則に定めるところによるものであること。
ク 開札日時	平成30年5月21日 午前9時30分	開札場所 入札室（東広島市西条栄町8番29号 本庁本館4階） 開札の結果、予定価格の制限の範囲内の価格をもって有効な入札がないときは、開札日の翌日以降に再度の入札（1回目）を実施するものとする。再度の入札（1回目）は、開札の立ち会いの有無に関わらず初度の入札参加者全員が参加できるものとする。 再度の入札（1回目）を実施する日時、場所等の詳細は初度の入札に参加した者に対してファックスにより通知を行う。 再度の入札（1回目）の結果、予定価格の制限の範囲内での入札がなかったときは、直ちに入札会場で再度の入札（2回目）を行う。 再度の入札は、2回目まで行う。

5 資格要件確認資料の提出

本案件は、入札に参加する者に必要な資格を確認するために必要な資料（以下「資格要件確認資料」という。）の提出を求めない。

(1) 提出書類

書類の区分	提出書類 (○印)	備考
ア 入札参加資格確認申請書		様式は、東広島市ホームページからダウンロードできる。
イ 入札参加資格要件総括表		
ウ 誓約書		
エ 配置予定技術者届出書		
オ 履行実績確認表		
カ 履行実績証明書（物品・委託役務）		
キ 法令等による登録等を確認するための資料		
ク その他		

(2) 提出部数は、1部とし、提出した資格要件確認資料は、返却しない。

(3) 提出期限

(4) 提出先 「6 問い合わせ先（契約担当課）」のとおり。

(5) その他

入札参加者は、資格要件確認資料を指定された提出期限までに提出できるよう事前に準備しておくこと。

資格要件確認資料の作成及び提出に要する費用は、提出者の負担とする。

資格要件の審査のために必要があると認めるときは、期限を定めて資格要件確認資料の補正や追加資料の提出を求めることがある。

資格要件確認資料に虚偽の記載をした者に対しては、指名除外措置を行うことがある。

6 問い合わせ先（契約担当課）

総務部契約課 物品役務係
東広島市西条栄町8番29号（本庁本館4階）
電話番号 082-420-0930
ファックス番号 082-431-0077

平成30年度東広島市生涯学習センター及びコミュニティハウス
空気調和設備保守点検業務仕様書

1 業務名

平成30年度東広島市生涯学習センター及びコミュニティハウス空気調和設備保守点検業務

2 履行場所

- (1) 東広島市志和生涯学習センター（東広島市志和町志和西1432番地）
- (2) 東広島市黒瀬生涯学習センター（東広島市黒瀬町菅田10番地）
- (3) 東広島市豊栄生涯学習センター（東広島市豊栄町鍛冶屋271番地）
- (4) 東広島市安芸津生涯学習センター（東広島市安芸津町三津4398番地）
- (5) 東広島市西志和コミュニティハウス（東広島市志和町七条椀坂1134番地1）

3 履行期間

契約締結日の翌日から平成31年3月31日まで

4 業務対象施設の名称

- (1) 東広島市志和生涯学習センター
- (2) 東広島市黒瀬生涯学習センター
- (3) 東広島市豊栄生涯学習センター
- (4) 東広島市安芸津生涯学習センター
- (5) 東広島市西志和コミュニティハウス

5 業務内容

業務対象施設における空気調和設備の保守点検（フロン排出抑制法による簡易点検・定期点検を含む。）

6 業務目的

空気調和設備について専門的見地から点検又は測定等により劣化及び不具合の状況を把握し、保守の措置を講ずることにより、所定の機能を維持し、事故・故障等の未然の防止に資することを目的とする。

7 業務仕様

- (1) 本仕様書に定めがない事項は、添付の空気調和設備保守点検業務共通標準事項（以下、「標準事項」という。）による。
- (2) 本仕様書及び標準事項に定めがない事項は、施設管理担当者と協議するものとする。
受注者は業務に支障をきたさないよう、業務に関する事項について前任の受注者から十分引き継ぎを受けること。また、受注者の変更がある場合は、後任の受注者が業務に支障をきたさないよう、業務に関する事項について後任の受注へ十分に引き継ぎをすること。
- (3) 著作権、特許権その他第三者の権利の対象となっている作業方法等の使用に関しては、その費用負担及び仕様交渉の一切を受注者において行うものとする。

8 設備の種類、数量等

(1) 志和生涯学習センター

空調機の種類	機種・規格等		台数	備考(設置個所等)
ガスヒートポンプ式 パッケージエアコン	型式	室外機(ビル用マルチ)	2台	GHP1 屋外
	メーカー	三洋電機空調		
	型番	SGP-CH450H1P		
	能力	冷房 45.0kw 暖房 53.0kw		
	消費電力	12.1kw		
	その他	プロパンガス、電源 3φ-200V		
	型式	室内機(天井埋込カセット型ダブルフロータイプ)	4台	GHP1-1 ホール
	メーカー	三洋電機空調		
	型番	SGP-SSH71H1		
	能力	冷房 7.1kw 暖房 8.5kw		
電力	冷房 0.146kw 暖房 0.110kw			
その他	電源 1φ-200V			
型式	室内機(天吊露出型)	3台	GHP1-2 会議室1・2 児童室	
メーカー	三洋電機空調			
型番	SGP-TH71H1			
能力	冷房 7.1kw 暖房 8.5kw			
電力	冷房 0.082kw 暖房 0.082kw			
その他	電源 1φ-200V			
型式	室内機(天吊露出型)	2台	GHP1-3 展示室 図書室	
メーカー	三洋電機空調			
型番	SGP-TH56H1			
能力	冷房 5.6kw 暖房 6.7kw			
電力	冷房 0.062kw 暖房 0.062kw			
その他	電源 1φ-200V			
型式	室内機(天井埋込ビルトイン型)	3台	GHP1-4 和室1・2 会議室3	
メーカー	三洋電機空調			
型番	SGP-BDH71H1			
能力	冷房 7.1kw 暖房 8.5kw			
電力	冷房 0.150kw 暖房 0.141kw			
その他	電源 1φ-200V			
型式	室内機(天井埋込ビルトイン型)	1台	GHP1-5 会議室3	
メーカー	三洋電機空調			
型番	SGP-BDH56H1			
能力	冷房 5.6kw 暖房 6.7kw			
電力	冷房 0.107kw 暖房 0.094kw			
その他	電源 1φ-200V			
型式	室内機(天吊露出型)	2台	GHP1-6 調理実習室	
メーカー	三洋電機空調			
型番	SGP-TH90H1			
能力	冷房 9.0kw 暖房 10.6kw			
電力	冷房 0.094kw 暖房 0.094kw			
その他	電源 1φ-200V			
型式	室外機(ビル用マルチ)	1台	GHP2(大ホール系統) 屋外	
メーカー	三洋電機空調			
型番	SGP-CHL560H1P			
能力	冷房 56.0kw 暖房 67.0kw			
消費電力	15.0kw			
その他	プロパンガス、電源 3φ-200V			

空調機の種類	機種・規格等		台数	備考(設置個所等)
ガスヒートポンプ式 パッケージエアコン	型式	室外機	1台	GHP3 事務室
	能力	冷房 22.4kw 暖房 28.0kw		
	メーカー	三洋電機空調		
	型番	SGP-CH224H1P2		
	能力	6.0kw		
その他	電源 1φ-200V	1台	GHP3-1 事務室	
型式	室内機(天井埋込カセット型マルチフロータイプ)			
メーカー	三洋電機空調			
型番	SGP-SH140H1			
能力	冷房 14.0kw 暖房 17.0kw			
電力	冷房 0.214kw 暖房 0.175kw	1台	ACP-1 大ホール	
その他	電源 1φ-200V			
型式	床置ダクト型(室内ユニット)			
メーカー	三洋電機空調			
パッケージエアコン	型番	SGP-DHL560H1	1台	ACP-1 大ホール
	能力	冷房 56.0kw 暖房 67.0kw		
	その他	電源 3φ-200V、蒸発皿式加湿器		
	その他	電源 3φ-200V、蒸発皿式加湿器		

(2) 黒瀬生涯学習センター

空調機の種類	機種・規格等		台数	備考(設置個所等)
空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	型式	室外機(ビル用マルチ)	7台	PAC-1 屋上
	メーカー	東芝		
	型番	MAY-M101H		
	能力	冷房 28.0kw 暖房 31.5kw		
	圧縮機	7.5kw		
	その他	10HP 電源 3φ-200V		
空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	型式	室内機(天井埋込ダクト型)	14台	PAC-1-1 イベントホール ホワイエ B 廊下 B
	メーカー	東芝		
	型番	MID-1254BH		
	能力	冷房 14.0kw 暖房 16.0kw		
	電力	冷房 — kw 暖房 — kw		
その他	5HP 電源 1φ-200V	1台	PAC-2 屋上	
型式	室外機(ビル用マルチ)			
メーカー	東芝			
型番	MAY-M101H			
能力	冷房 28.0kw 暖房 31.5kw			
圧縮機	7.5kw	2台	PAC-2-1 図書室	
その他	10HP 電源 3φ-200V			
型式	室内機(カセット型)			
メーカー	東芝			
型番	MIU-505H			
能力	冷房 5.6kw 暖房 6.3kw	4台	PAC-2-2 図書室	
電力	冷房 — kw 暖房 — kw			
その他	2HP 電源 1φ-200V			
型式	室内機(カセット型)			
メーカー	東芝			
型番	MIU-405H			
能力	冷房 4.5kw 暖房 5.0kw			
電力	冷房 — kw 暖房 — kw			
その他	1.6HP 電源 1φ-200V			

空調機の種類	機種・規格等		台数	備考(設置個所等)
空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	型式	室外機 (ビル用マルチ)	1 台	PAC-3 屋上
	メーカー	東芝		
	型番	MAY-M101H		
	能力	冷房 28.0kw 暖房 31.5kw		
	圧縮機	7.5kw		
	その他	10HP 電源 3φ-200V		
	型式	室内機 (カセット型)	3 台	PAC-3-1 図書室
	メーカー	東芝		
	型番	MIU-505H		
	能力	冷房 5.6kw 暖房 6.3kw		
	電力	冷房 — kw 暖房 — kw		
	その他	2HP 電源 1φ-200V		
	型式	室内機 (カセット型)	2 台	PAC-3-2 図書室
	メーカー	東芝		
	型番	MIU-405H		
	能力	冷房 4.5kw 暖房 5.0kw		
電力	冷房 — kw 暖房 — kw			
その他	1.6HP 電源 1φ-200V			
型式	室内機 (カセット型)	1 台	PAC-3-3 視聴覚コーナー	
メーカー	東芝			
型番	MIU-325H			
能力	冷房 3.6kw 暖房 4.0kw			
電力	冷房 — kw 暖房 — kw			
その他	1.3HP 電源 1φ-200V			
型式	室外機 (ビル用マルチ)	1 台	PAC-4 屋上	
メーカー	東芝			
型番	MAY-M101H			
能力	冷房 28.0kw 暖房 31.5kw			
圧縮機	7.5kw			
その他	10HP 電源 3φ-200V			
型式	室内機 (カセット型)	2 台	PAC-4-1 図書室	
メーカー	東芝			
型番	MIU-505H			
能力	冷房 5.6kw 暖房 6.3kw			
電力	冷房 — kw 暖房 — kw			
その他	2HP 電源 1φ-200V			
型式	室内機 (カセット型)	2 台	PAC-4-2 図書室	
メーカー	東芝			
型番	MIU-405H			
能力	冷房 4.5kw 暖房 5.0kw			
電力	冷房 — kw 暖房 — kw			
その他	1.6HP 電源 1φ-200V			
型式	室内機 (カセット型)	1 台	PAC-4-3 図書カウンター	
メーカー	東芝			
型番	MIU-325H			
能力	冷房 3.6kw 暖房 4.0kw			
電力	冷房 — kw 暖房 — kw			
その他	1.3HP 電源 1φ-200V			
型式	室内機 (カセット型)	1 台	PAC-4-4 調査研究室	
メーカー	東芝			
型番	MIU-255H			
能力	冷房 2.8kw 暖房 3.2kw			
電力	冷房 — kw 暖房 — kw			
その他	1HP 電源 1φ-200V			

空調機の種類	機種・規格等		台数	備考(設置個所等)
空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	型式	室外機(ビル用マルチ)	2台	PAC-5 屋上
	メーカー	東芝		
	型番	MAY-M81H		
	能力	冷房 22.4kw 暖房 25.0kw		
	圧縮機	5.5kw		
	その他	8HP 電源 3φ-200V		
	型式	室内機(天井埋込ダクト型)	4台	PAC-5-1 ホワイエ D 廊下 C
	メーカー	東芝		
	型番	MID-1004BH		
	能力	冷房 11.2kw 暖房 15.7kw		
	電力	冷房 — kw 暖房 — kw		
	その他	4HP 電源 3φ-200V		
	型式	室外機(ビル用マルチ)	1台	PAC-6 屋上
	メーカー	東芝		
	型番	MAY-M81H		
	能力	冷房 22.4kw 暖房 25.0kw		
圧縮機	5.5kw			
その他	8HP 電源 3φ-200V			
型式	室内機(カセット型)	2台	PAC-6-1 会議室 B	
メーカー	東芝			
型番	MIU-505H			
能力	冷房 5.6kw 暖房 6.3kw			
電力	冷房 — kw 暖房 — kw			
その他	2HP 電源 1φ-200V			
型式	同時ツインマルチ(カセット型)	室外機 1台 室内機 2台	PAC-7 調理実習室	
メーカー	東芝			
型番	外 ROB-2502H, 内 AIU-1255HRG			
能力	冷房 28.0kw 暖房 36.2kw			
圧縮機	7.5kw			
その他	10HP 電源 3φ-200V(室内・室外)			
型式	個別ツインマルチ(天井埋込ダクト型)	室外機 1台 室内機 2台	PAC-8 和室	
メーカー	東芝			
型番	外 ROA-1253HM, 内 AID-634BHG			
能力	冷房 14.0kw 暖房 15.6kw			
圧縮機	3.4kw			
その他	5HP 電源 3φ-200V(室外) 1φ-200V(室内)			
型式	同時ツインマルチ(カセット型)	室外機 1台 室内機 2台	PAC-9 会議室 D	
メーカー	東芝			
型番	外 ROA-1253H, 内 AIU-635HG			
能力	冷房 14.0kw 暖房 15.6kw			
圧縮機	2.7kw			
その他	5HP 電源 3φ-200V(室外) 1φ-200V(室内)			
型式	同時ツインマルチ(カセット型)	室外機 3台 室内機 6台	PAC-10 リハーサル室 (内 RBC-U21-PG(W)) 事務室 (内 RBC-U718PG) 会議室 A (内 AIU-505HG)	
メーカー	東芝			
型番	外 ROA-1003H, 内(右記)			
能力	冷房 28.0kw 暖房 36.2kw			
圧縮機	2.7kw			
その他	4HP 電源 3φ-200V(室外) 1φ-200V(室内)			
型式	同時ツインマルチ(カセット型)	室外機 1台 室内機 2台	PAC-11 会議室 C	
メーカー	東芝			
型番	外 ROA-1003H, 内 AIU-505HG			
能力	冷房 9.0kw 暖房 10.0kw			
圧縮機	2.4kw			
その他	3.3HP 電源 3φ-200V(室外) 1φ-200V(室内)			

空調機の種類	機種・規格等		台数	備考(設置個所等)
空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	型式	カセット型	訓練 2 台 訓練 2 台	PAC-12 楽屋 A・B
	メーカー	東芝		
	型番	外 ROA-713H, 内 AIU-715HG		
	能力	冷房 8.0kw 暖房 8.8kw		
	圧縮機	2.0kw		
	その他	3HP 電源 3φ・200V (室外) 1φ・200V (室内)		
	型式	壁掛型	訓練 1 台 訓練 1 台	PAC-13 映写室
	メーカー	東芝		
	型番	外 ROA-713H, 内 AIK713H		
	能力	冷房 8.0kw 暖房 8.8kw		
	圧縮機	2.0kw		
	その他	3HP 電源 3φ・200V (室外) 1φ・200V (室内)		
	型式	カセット型	訓練 2 台 訓練 2 台	PAC-14 楽屋 C コミュニケーションルーム (旧 館長室)
	メーカー	東芝		
	型番	外 ROA-353H, AIU-355HG		
能力	冷房 4.0kw 暖房 4.8kw			
圧縮機	1.2kw			
その他	1.5HP 電源 3φ・200V (室外) 1φ・200V (室内)			
型式	壁掛型	訓練 2 台 訓練 2 台	PAC-15 調光室 音響調整室	
メーカー	東芝			
型番	外 ROA-353H, 内 AIK353H			
能力	冷房 4.0kw 暖房 4.8kw			
圧縮機	1.2kw			
その他	1.5HP 電源 3φ・200V (室外) 1φ・200V (室内)			
型式	壁掛型	訓練 1 台 訓練 1 台	PAC-16 ピンスポット室	
メーカー	東芝			
型番	外 RAV-S1002, 内 RAV-1003K			
能力	冷房 11.2kw 暖房 — kw			
圧縮機	2.7kw			
その他	4HP 電源 3φ・200V (室外) 1φ・200V (室内)			
直だき吸収冷温水機	型式	CH-MG70HC	1 台	R-1 1F 空調機室
	メーカー	矢崎エナジーシステム		
	型番	—		
	能力	冷凍 246.1kW 加熱 219.6kW		
	燃料	灯油		
	電力	冷房 1.6kW 暖房 1.4kW		
	その他	電源 3φ 200V		
型式	CH-MG80HC	1 台	R-2 1F 空調機室	
メーカー	矢崎エナジーシステム			
型番	—			
能力	冷凍 281kW 加熱 251kW			
燃料	灯油			
電力	冷房 1.6kW 暖房 1.4kW			
その他	電源 3φ 200V			
冷却塔	型式	二重効用吸収式冷凍機用 角型開放式超低騒音型	1 台	CT-1 屋上
	メーカー	東芝		
	型番	RTC-1557PUW		
	冷却能力	150 冷却トン		
	送風機	5.5kW		
その他	電源 3φ・200V			
冷却水ポンプ	型式	片吸込渦巻ポンプ 4極	1 台	CDP-1 1F 空調機室
	メーカー	荏原製作所		
	型番	150SF615		
	性能	150φ×2,550L/min×20m×15kW		
	その他	電源 3φ・200V		

空調機の種類	機種・規格等		台数	備考(設置個所等)		
冷温水ポンプ	型式	片吸込渦巻ポンプ 4極	1台	CHP-1 1F 空調機室		
	メーカー	荏原製作所				
	型番	125SF611				
	性能	150φ×1,510L/min×25m×15kW				
	その他	電源 3φ-200V				
オイルギアポンプ	型式	電動直結型 灯油用	2台	CDP-1 1F 空調機室		
	メーカー	荏原製作所				
	型番	15GPM6.2				
	性能	15φ×10L/min×2kg/cm ² ×0.2kW				
	その他	電源 3φ-200V				
オイルタンク(地下式)	メーカー	—	1台	OT-1 屋外		
	型番	—				
	容量	3,000L				
	寸法	1,200φ×2,700L				
	その他	地下タンク方式				
オイルサービスタンク	メーカー	荏原製作所	1台	OST-1 1F 空調機室		
	型番	—				
	容量	150L				
	寸法	500×500×700H				
	その他	架台 1,500H(タラップ付)				
開放型膨張タンク	メーカー	—	1台	EXT-1 屋上		
	型番	—				
	容量	150L				
	寸法	500×500×600H				
	その他	架台 500H				
ユニット型空気調和機	型式	水平型(舞台系統)	1台	AHU-1 2F 空調機室		
	メーカー	東洋製作所				
	型番	TUC-302AH				
	冷房能力	84,000kcal/h				
	暖房能力	72,000kcal/h				
	送風機	SA 24,000m ³ /h×35mmAg(機外)×11kW RA 24,000m ³ /h×45mmAg(機外)×11kW				
	冷温水循環量	280L/min				
	その他	電源 3φ-200V				
	型式	水平型(客席系統)			1台	AHU-2 2F 空調機室
	メーカー	東洋製作所				
型番	TUC-575AH					
冷房能力	243,000kcal/h					
暖房能力	157,500kcal/h					
送風機	SA 37,500m ³ /h×50mmAg(機外)×22kW RA 37,500m ³ /h×50mmAg(機外)×22kW					
冷温水循環量	810L/min					
その他	電源 3φ-200V					
型式	コンパクトシステム型(ホワイエ系統)	1台	AHU-3 1F ホワイエ DS			
メーカー	東洋製作所					
型番	THS-150-MX-L					
冷房能力	48,000kcal/h					
暖房能力	45,000kcal/h					
送風機	9,000m ³ /h×35mmAg(機外)×5.5kW					
冷温水循環量	160L/min					
その他	電源 3φ-200V					

(3) 豊栄生涯学習センター

空調機の種類	機種・規格等		台数	備考(設置個所等)
空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	型式	室外機 (ビル用マルチ)	1 台	PAC-1 屋上
	メーカー	三菱		
	型番	FC250HKX7		
	能力	冷房 28.0kw 暖房 31.5kw		
	圧縮機	7.5kw		
	その他	10HP 電源 3φ-200V		
	型式	室内機 (カセット型)	4 台	PAC-1-1 2F 大研修室
	メーカー	三菱		
	型番	FDT63HKX8		
	能力	冷房 7.1kw 暖房 8.0kw		
	電力	冷房 — kw 暖房 — kw		
	その他	電源 3φ-200V		
	型式	ツインマルチ (天井埋込ダクト型)	外機 2 台 内機 4 台	PAC-2 1F ロビー
	メーカー	三菱		
	型番	外 FC200HM7, 内 FDU100H8		
能力	冷房 22.4kw 暖房 25.0kw			
圧縮機	5.5kw			
その他	電源 3φ-200V (室外) 1φ-200V (室内)			
型式	室外機 (ビル用マルチ)	1 台	PAC-3 屋上	
メーカー	三菱			
型番	FC200HKX7			
能力	冷房 22.4kw 暖房 25.0kw			
圧縮機	5.5kw			
その他	8HP 電源 3φ-200V			
型式	室内機 (カセット型)	4 台	PAC-3-1 2F 会議室	
メーカー	三菱			
型番	FDT50HKX8			
能力	冷房 5.6kw 暖房 6.3kw			
電力	冷房 — kw 暖房 — kw			
その他	電源 1φ-200V			
型式	室外機 (ビル用マルチ)	1 台	PAC-4 屋上	
メーカー	三菱			
型番	FC140HKX7			
能力	冷房 16.0kw 暖房 17.8kw			
圧縮機	4.1kw			
その他	6HP 電源 3φ-200V			
型式	室内機 (カセット型)	3 台	PAC-4-1 1F 図書室	
メーカー	三菱			
型番	FDT63H8			
能力	冷房 5.6kw 暖房 6.3kw			
電力	冷房 — kw 暖房 — kw			
その他	電源 1φ-200V			
型式	ツインマルチ (カセット型)	外機 2 台 内機 4 台	PAC-5 2F 調理教室(2) 1F 児童室(2)	
メーカー	三菱			
型番	外 FC140HM7, 内(調)FDT71HE8, 内(児)FDT71H8			
能力	冷房 16.0kw 暖房 20.5kw			
圧縮機	4.1kw			
その他	電源 3φ-200V			

空調機の種類	機種・規格等		台数	備考(設置個所等)
空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	型式	ツインマルチ(カセット型)	訓練 2台 訓練 4台	PAC-6 1F 事務室(2) 1F 児童室(2)
	メーカー	三菱		
	型番	外 FC125HM7 内(事)FDT63H8, 内(児)FDT71H8		
	能力	冷房 14.0kw 暖房 15.8kw		
	圧縮機	3.5kw		
	その他	電源 3φ・200V (室外) 1φ・200V (室内)		
	型式	天井埋込ダクト型	訓練 1台 訓練 1台	PAC-7 1F 教養室
	メーカー	三菱		
	型番	外 FC100H8A, 内 FDUM100H8		
	能力	冷房 11.2kw 暖房 12.0kw		
	圧縮機	2.7kw		
	その他	電源 3φ・200V (室外) 1φ・200V (室内)		
型式	カセット型	訓練 1台 訓練 1台	PAC-8 2F 準備室	
メーカー	三菱			
型番	外 FDC63H8A, 内 FDT63H8			
能力	冷房 7.1kw 暖房 7.6kw			
圧縮機	1.7kw			
その他	電源 3φ・200V (室外) 1φ・200V (室内)			
型式	天井埋込ダクト型	訓練 1台 訓練 1台	PAC-9 1F 教養室	
メーカー	三菱			
型番	外 FDC71H8A, 内 FDUM71H8			
能力	冷房 8.0kw 暖房 8.5kw			
圧縮機	2.0kw			
その他	電源 3φ・200V (室外) 1φ・200V (室内)			
型式	カセット型	訓練 1台 訓練 1台	PAC-10 2F 映写室	
メーカー	三菱			
型番	外 FDC50H8A, 内 FDT50H8			
能力	冷房 5.6kw 暖房 6.1kw			
圧縮機	1.5kw			
その他	電源 3φ・200V (室外) 1φ・200V (室内)			
型式	天井埋込ダクト型	訓練 1台 訓練 1台	PAC-11 2F 廊下	
メーカー	三菱			
型番	外 FDC100H8A, 内 FDUM100H8			
能力	冷房 11.2kw 暖房 11.8kw			
圧縮機	2.7kw			
その他	電源 3φ・200V (室外) 1φ・200V (室内)			
直だき吸収冷温水機	型式	HAU-AH80CXR	1台	R-1 屋上
	メーカー	日立ジョンソンコントロールズ空調		
	型番	-		
	冷房容量	281kW (241,920kcal/h)		
	暖房容量	278kW (239,080kcal/h)		
	燃料	特A重油		
	電力	冷房 2.76kW 暖房 2.76kW		
その他	屋内設置カバー付			
冷却塔	型式	二重効用吸収式冷凍機用 角型開放式低騒音型	1台	CT-1 屋上
	メーカー	空研工業		
	型番	SKB-85PGR		
	冷却能力	448,800kcal/h		
	電動機	3.7kW		
	その他	電源 3φ・200V		

空調機の種類	機種・規格等		台数	備考(設置個所等)
オイルタンク(地上式)	メーカー	川本ポンプ	1台	OT-1 屋外
	型番	—		
	容量	1,500L		
	寸法	1.0×1.0×1.65H(架台500H)		
	その他	地上型、鋼板製		
オイルサービスタンク	メーカー	ホーコス	1台	OST-1 屋上
	型番	HTS-100-1500KT		
	容量	100L		
	その他	架台1,500H(タラップ付)		
密閉式膨張タンク	メーカー	森永エンジニアリング	1台	EXT-1 屋上
	型番	G-60		
	容量	51L		
	温度・圧力	最高使用温度60℃ 最高使用圧力3.2kg・f/cm ² ・abs		
	膨張吸収量	18L		
その他	第二種圧力容器適合品			
ユニット型空気調和機	型式	垂直型(舞台系統)	1台	AHU-1 2F機械室
	メーカー	東洋製作所		
	型番	TUC-305AV		
	冷房能力	61,000kcal/h		
	暖房能力	61,000kcal/h		
	送風機	25,400m ³ /h×45mmAq×11kW		
	冷媒循環量	204ℓ/min		
その他	電源3φ-200V 1φ-200V			
ユニット型空気調和機	型式	垂直型(ホール系統)	1台	AHU-2 1F機械室
	メーカー	東洋製作所		
	型番	TUC-245AV		
	冷房能力	126,000kcal/h		
	暖房能力	139,000kcal/h		
	送風機	23,300m ³ /h×45mmAq×11kW		
	冷媒循環量	420ℓ/min		
その他	電源3φ-200V			

(4) 安芸津生涯学習センター

空調機の種類	機種・規格等		台数	備考(設置個所等)
マルチパッケージ形 空気調和機	型式	室外機	1台	ACP-1 屋上
	メーカー	ダイキン		
	型番	RXYP500DH		
	能力	冷房50.0kw 暖房56.0kw		
	圧縮機	11.0kw		
	その他	電源3φ-200V		
マルチパッケージ形 空気調和機	型式	室内機(天井埋込ダクト型)	4台	ACP-1-1 1Fホワイエ
	メーカー	ダイキン		
	型番	FXYP71C		
	能力	冷房7.1kw 暖房8.0kw		
	電力	冷房—kw 暖房—kw		
	その他	電源1φ-200V		
マルチパッケージ形 空気調和機	型式	室内機(天井カセット型2方向)	3台	ACP-1-2 1F通路1
	メーカー	ダイキン		
	型番	FXYP71MG		
	能力	冷房4.5kw 暖房5.0kw		
	電力	冷房—kw 暖房—kw		
	その他	電源1φ-200V		

空調機の種類	機種・規格等		台数	備考(設置個所等)
	型式	室内機(天井カセット型4方向)	1台	ACP-1-3 1F 事務室
	メーカー	ダイキン		
	型番	FXYFP36MG		
	能力	冷房 3.6kw 暖房 4.0kw		
	電力	冷房 — kw 暖房 — kw		
	その他	電源 1φ・200V		
	型式	室内機(天井カセット型2方向)	2台	ACP-1-4 2F 音響調整室 2F 多目的室
	メーカー	ダイキン		
	型番	FXYKP36C		
	能力	冷房 3.6kw 暖房 4.0kw		
	電力	冷房 — kw 暖房 — kw		
	その他	電源 1φ・200V		
	型式	室外機	1台	ACP-2 屋上
	メーカー	ダイキン		
	型番	RXYP500DH		
能力	冷房 50.0kw 暖房 56.0kw			
圧縮機	10.7kw			
その他	電源 3φ・200V			
型式	室内機(天井埋込ダクト型)	3台	ACP-2-1 2F 開架書架 2F 展示コーナー	
メーカー	ダイキン			
型番	FXYMP90C			
能力	冷房 8.0kw 暖房 9.0kw			
電力	冷房 — kw 暖房 — kw			
その他	電源 1φ・200V			
型式	室内機(天井埋込ダクト型)	1台	ACP-2-2 ホワイエ上部	
メーカー	ダイキン			
型番	FXYMP71C			
能力	冷房 7.1kw 暖房 8.0kw			
電力	冷房 — kw 暖房 — kw			
その他	電源 1φ・200V			
マルチパッケージ形 空気調和機	型式	室内機(天井埋込ダクト型)	2台	ACP-2-3 2F 閲覧エリア
	メーカー	ダイキン		
	型番	FXYMP45C		
	能力	冷房 4.5kw 暖房 5.0kw		
	電力	冷房 — kw 暖房 — kw		
	その他	電源 1φ・200V		
	型式	室内機(天井カセット型4方向)	1台	ACP-2-4 2F 事務室
	メーカー	ダイキン		
	型番	FXYFP28MG		
	能力	冷房 2.8kw 暖房 3.2kw		
電力	冷房 — kw 暖房 — kw			
その他	電源 1φ・200V			
空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	型式	天井カセット型(4方向)	2台	PAC-1 1F 多目的室 (南側・北側)
	メーカー	ダイキン		
	型番	SZRC63BT		
	能力	冷房 5.6kw 暖房 6.3kw		
	圧縮機	1.5kw		
	その他	電源 3φ・200V		
	型式	床置形設備用パッケージ(後方ダクト吸込)	1台	PAC-2 2F 機械室 (1F ホール系統)
	メーカー	ダイキン		
	型番	SZVYP1400KH		
	能力	冷房 125kw 暖房 140kw		
圧縮機	33.0kw			
その他	電源 3φ・200V			

空調機の種類	機種・規格等		台数	備考(設置個所等)
空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	型式	床置形設備用パッケージ(後方ダクト吸込)	1台	PAC-3 2F 機械室 (1F ステージ系統)
	メーカー	ダイキン		
	型番	SZVYCP450KH		
	能力	冷房 40.0kw 暖房 45.0kw		
	圧縮機	10.0kw		
	その他	電源 3φ・200V		
全熱交換器	型式	天井埋込型(マイコンタイプ)	2台	HEU-1 1F 便所(ホワイエ用) 2F 図書館
	メーカー	三菱		
	型番	LGH-N50RX		
	送風機	500m ³ /h×130Pa		
	電力	0.32kW		
	その他	電源 1φ・100V		
	型式	天井埋込型(マイコンタイプ)	1台	HEU-2 1F 事務室
	メーカー	三菱		
	型番	LGH-N15RX		
	送風機	120m ³ /h×100Pa		
	電力	0.12kW		
	その他	電源 1φ・100V		
	型式	天井埋込型(マイコンタイプ)	2台	HEU-3 1F 多目的室(北) 多目的室(南)
	メーカー	三菱		
	型番	LGH-N35CX		
	送風機	260m ³ /h×70Pa		
	電力	0.195kW		
	その他	電源 1φ・100V		
型式	天井埋込型(マイコンタイプ)	1台	HEU-4 2F 多目的室	
メーカー	三菱			
型番	LGH-N25CX			
送風機	200m ³ /h×70Pa			
電力	0.144kW			
その他	電源 1φ・100V			
型式	天井埋込型(マイコンタイプ)	1台	HEU-5 2F 音響・調整室	
メーカー	三菱			
型番	LGH-N15CX			
送風機	100m ³ /h×100Pa			
電力	0.08kW			
その他	電源 1φ・100V			

(5) 西志和コミュニティハウス

空調機の種類	機種・規格等		台数	備考(設置個所等)
空冷ヒートポンプ式 エアコン シングルインバータ	型式	天井カセット型(4方向)	計 6 台 計 6 台	ACP-1 1F 集会室 1F ステージ
	メーカー	三菱重工業		
	型番	外 FDCVP801HK, 内 FDTVP801		
	能力	冷房 7.1kw 暖房 8.0kw		
	圧縮機	1.8kw		
	その他	電源 1φ・200V		
	型式	天井カセット型(4方向)	計 2 台 計 2 台	ACP-2 1F 研修室
	メーカー	三菱重工業		
	型番	外 FDCVP801 HK, 内 FDTVP801		
	能力	冷房 7.1kw 暖房 8.0kw		
	圧縮機	1.8kw		
	その他	電源 1φ・200V		
	型式	天井カセット型(4方向)	計 2 台 計 2 台	ACP-3 1F 和室
	メーカー	三菱重工業		
	型番	外 FDCVP631 HK, 内 FDTVP631		
能力	冷房 5.6kw 暖房 6.3kw			
圧縮機	1.4kw			
その他	電源 1φ・200V			
ルームエアコン インバータ	型式	壁掛型	計 1 台 計 1 台	ACP-4 1F 事務室
	メーカー	三菱重工業		
	型番	外 SRC22ZF, 内 SRK22ZF-W		
	能力	冷房 2.2kw 暖房 2.5kw		
	圧縮機	0.6kw		
	その他	電源 1φ・200V		

9 業務詳細

別紙「点検内容詳細」のとおり。

10 フロン排出抑制法による簡易点検・定期点検の該当

(フロン排出抑制法(フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律)の規程による簡易点検・定期点検の義務付けとなる機器の有無等)

項目		当施設・当業務の状況等
対象機器の有無		該当あり
簡易点検	7. 5kW未満のエアコン・冷凍冷蔵機器	44基 (志1、黒17、豊13、安2、西11)
定期点検	7. 5kW以上の冷凍冷蔵機器	0基
	50kW以上のエアコン	0基
	7. 5kW以上50kW未満のエアコン	19基 (志3、黒11、豊1、安4、西0)
当業務と定期点検との関係		当契約に含む。

※ 簡易点検・定期点検を別発注とする業務においては、受注者は該当機器の状況について簡易点検・定期点検を行う者との連絡・報告等に努めること。

1 1 建築物環境衛生管理について

(建築物における衛生的環境の確保に関する法律の規定による建築物環境衛生管理との関係)

項目	当施設・当業務の状況等
特定建築物の該当	該当なし
建築物環境衛生管理	別契約（当業務に含まない。）
建築物環境衛生管理技術者の選任	別途あり（受注者に求めない。）

※ 発注者が別途選任した建築物環境衛生管理技術者がある場合は、当該者の監督の下で衛生的環境の確保に努めること。

1 2 その他

(1) 部分払い

① 本委託は、部分払金を次のとおり請求できるものとする。

履行区分	支払金額	支払種別
上半期（5～9月）履行分	〇〇〇〇円	部分払（部分引渡し）
下半期（10～3月）履行分	〇〇〇〇円	完了払

② 部分払金を請求しようとするときは、当該履行区分の履行報告を行っていない限りならない。

(2) その他

フロン排出抑制法に係る点検業務を再委託するときは、委任（下請負）承認書の提出により事前に発注者の承認を得ること。

1 3 特記事項

なし。

別紙 点検内容詳細

1 点検、保守の範囲等及び一般事項

(1) 点検の範囲

- ① 点検の対象部分、数量等は、「8 設備の種類、数量等」による。
- ② 対象部分について、次に示す点検内容を実施し、その結果について報告する。なお、「8 設備の種類、数量等」に示した対象部分以外であっても、異常を発見した場合には、施設管理担当者に報告する。

(2) 保守の範囲

定期点検及び臨時点検の結果に応じ実施する保守の範囲は、次のとおりとする。

- ① 汚れ、詰まり、付着等がある部品又は点検部の清掃
- ② 取り付け不良、作動不良、ずれ等がある場合の調整
- ③ ボルト、ねじ等で緩みがある場合の増し締め
- ④ 次に示す消耗部品の交換又は補充
 - ア 潤滑油、グリス、充填油等
 - イ ランプ類、ヒューズ類
 - ウ パッキン、ガスケット、Oリング類
- ⑤ 接触部分、回転部分等への注油
- ⑥ 軽微な損傷がある部分の補修
- ⑦ 塗装（タッチペイント等による部分的な塗装補修とし、ホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆の防錆ペイントを使用する。）
- ⑧ 支給部品による簡単な部品交換
- ⑨ その他これらに類する軽微な作業

(3) 点検の実施

- ① 点検を行う場合には、あらかじめ施設管理担当者から劣化及び故障状況を聴取し、点検の参考とする。
- ② 点検及び保守を行うに当たっては、作業の対象又はその周辺に汚損等の損害を与えることのないよう、適切な養生を行う。
- ③ 点検は、原則として目視、触接又は軽打等により行う。
- ④ 測定を行う点検は、定められた測定機器又は当該事項専用の測定機器を使用する。
- ⑤ 異常を発見した場合には、同様な異常の発生が予想される箇所の点検を行う。
- ⑥ 保守は、点検の結果に基づき、劣化又は異常の状態に見合った適切な措置を受注者の責任においてとるものとする。但し、劣化又は異常の状態が著しく、保守の内容が高度又は専門の技術等を要すると判断される場合は、施設管理担当者と協議する。

(4) 周期の表記

定期点検の周期の表記は、次による。

- ① 3Mは、3月に1回行うものとする。
- ② 6Mは、6月に1回行うものとする。
- ③ 1Yは、1年に1回行うものとする。

(5) 応急措置等

- ① 点検の結果、対象部分に脱落や落下又は転倒の恐れがある場合、また、継続使用することにより著しい損傷又は関連する部材・機器等に影響を及ぼすことが想定される場合は、簡易な方法により、応急措置を講じるとともに、速やかに施設管理担当者に報告する。
- ② 落下、飛散等の恐れがあるものについては、その区域を立入禁止にする等の危険防止措置を講じるとともに、速やかに施設管理担当者に報告する。
- ③ 応急措置、危険防止措置にかかる費用は、施設管理担当者との協議による。

(6) 故障等の対応

設備機器等について故障等が発生し、施設管理担当者の指示があったときは、直ちに作業員を派遣し、故障等の原因を調査、報告するとともに、適切な措置をとる。

(7) 点検及び保守に伴う注意事項

- ① 点検及び保守の実施の結果、対象部分を現状より悪化させてはならない。
- ② 点検及び保守の実施にあたり、仕上材、構造材等の一部撤去又は損傷を伴う場合には、あらかじめ施設管理担当者の承諾を受ける。

(8) 運転・監視、計測・記録及び保守・点検に伴う留意事項

受託者は、エネルギー使用の適正化、温室効果ガス排出の削減に関する、発注者からの協議には専門的見地から誠実に対応し、管理標準等の運営に関しての助言等を行うこと。

2 設備ごとの点検内容

(1) 直だき吸収冷温水機

- ① 「消防法」、「危険物の規制に関する政令」及び「同規則」、「ガス事業法」、「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」の定めるところによる。
- ② 本項は、直だき吸収冷温水機に適用する。
- ③ 直だき吸収冷温水機の点検項目及び点検内容は、表1による。

表1 (直だき吸収冷温水機：シーズンイン・オフ点検)

点検項目	点検内容	周期
1 基礎・固定部	①亀裂、沈下等の有無を点検する。	1Y
	②固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みを点検する。	1Y
2 外観の状況		
a 本体	腐食、変形、破損等の有無を点検する。	6M
b 保冷材	保冷剤の損傷及び脱落等の有無を点検する。	6M
3 内部の状況		
a 燃焼室	①焼損及び燃焼ガスのリークの有無を点検する。	6M
	②耐火材の亀裂、脱落等の有無を点検する。	6M
	③燃焼室内部の腐食及び汚れの有無を点検する。	6M
	④燃焼ガス出口部の腐食の有無を点検する。	6M
b 熱交換器	①伝熱管のスケール付着の有無を点検する。	6M
	②伝熱管の腐食の有無を点検する。	6M
	③水室の汚れ及び腐食の有無を点検する。	6M

4	附属品		
a	温度計及び圧力計	①正常値を指示していることを確認する。 ②取付部等の漏れの有無を点検する。 ③汚れ及び破損の有無を点検する。	6M " "
b	付属弁	①弁の開閉の良否を点検する。 ②調整弁が、冷房又は暖房運転時の調整開度であることを確認する。	1Y 1Y
5	動力盤	①冷房又は暖房の切り換えが正しいことを確認する。 ②絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 ③作動の良否を点検する。	1Y 1Y 1Y
6	機内盤及び遠隔操作盤	作動の良否を点検する。	1Y
7	電気系統		
a	操作回路、ヒーター回路及び電動機回路（キャンドポンプ、抽気ポンプ、ブロワーファン、油ポンプ）	絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。（30V未満の回路は除く）	1Y
b	端子	緩み、変色及び損傷の有無を点検する。	1Y
c	タイマー	起動制限、遅延、その他のタイマーが設定値で作動することを確認する。	1Y
d	サーマルリレー	キャンドポンプ、抽気ポンプ、ブロワーファン及び油ポンプ等の各モータ用サーマルリレーの設定値を確認する。	1Y
e	電極棒	①電極棒の機能を点検する。 ②必要に応じて電極棒を抜き取り、亀裂又は折損の有無を点検する。	1Y 1Y
f	操作盤	操作盤内の汚れ、異物の付着、緩み及び変形の有無を点検する。	1Y
g	接地	①断線及び緩みの有無を点検する。 ②接地抵抗を測定し、その良否を点検する。	1Y 1Y
8	保安装置		
a	作動試験	リレー及び保護装置が規定値で作動することを確認する。（実作動が困難な場合は疑似回路とすることができる。）	1Y
b	インターロック	作動の良否を点検する。	1Y
9	燃料装置		
a	燃料系統配管	①油燃料の場合は、燃料油配管継手部からの油の滴下がないことを確認する。 ②ガス燃料の場合は、(社)日本冷凍空調工業会「ガス吸収冷温水機安全基準」(JRA4004)に定められた方法により外部漏れを確認する。	6M 6M
b	弁	①油燃料の場合は電磁弁非通電時に、ノズルからの油垂れがないことを確認する。 ②ガス燃料の場合は、(社)日本冷凍空調工業会「ガス吸収冷温水機安全基準」(JRA4004)に示す方法による弁越り量が基準以内であることを確認する。	1Y 1Y

	③ガス燃料の場合は、電動ボール弁、主遮断弁及びパイロット電磁弁の開閉の良否を点検する。	1Y
	④異常時に規定値で作動することを確認する。	1Y
	⑤通電時にチャタリング、過熱、異音等のないことを確認する。(実作動が困難な場合は疑似回路とすることができる。)	1Y
c	バーナー	
	①耐火材の亀裂及び欠損の有無を点検する。	1Y
	②ヘッド部の焼損及び変形の有無を点検する。	1Y
	③ノズルを取り外し、洗油又はシンナーで清掃する。	1Y
	④点火トランス、電極棒及び高圧リード線の損傷等の劣化及び絶縁碍子の亀裂の有無並びに絶縁の良否を確認する。	1Y
d	リンク機構	
	①動作の良否を点検する。	6M
	②ボールジョイント部の緩み及び損傷の有無を点検する。	6M
e	火災検知器	
	①光電セル又は紫外線検出方式は、受光面の汚れ、亀裂等の有無並びに絶縁の良否を確認する。	1Y
	②フレームロッド方式は、汚れ及び絶縁碍子の亀裂の有無並びに絶縁の良否を確認する。	1Y
f	ストレーナー	
	詰まり、損傷等の有無を点検する。(油燃料に限る。)	1Y
g	地震感知器	
	直だき吸収冷温水機運転時に作動テストを行い、自動的に燃焼が停止することを確認する。	1Y
10	冷温水及び冷却水系統	
	①出口及び入口の圧力損失が規定値にあることを確認する。	1Y
	②各水室部に水漏れのないことを確認する。	1Y
	③暖房時前の場合は、冷却水系の水抜きを確認する。	1Y
11	運動調整	
a	音及び振動	
	異常のないことを点検する。	1Y
b	電流及び電圧	
	①運転時における主電源電圧の変動が、規定値内にあることを確認する。	1Y
	②運転電流が規定値以下にあることを確認する。	1Y
c	電動機	
	電動機の回転方向が正しいことを確認する。	1Y
d	温度制御	
	設定温度で作動することを確認する。	1Y
e	燃焼制御	
	ブレバージ時間、着火タイミング、失火動作指令等の作動の良否を点検する。	1Y
f	燃焼状態	
	①正常に着火することを確認する。	1Y
	②メインバーナーの火炎が安定しており、異常振動及び異常音がないことを確認する。	1Y
	③フレーム電流を測定し、その良否を確認する。	1Y
	④排ガス中の酸素濃度及び一酸化炭素濃度、排ガス温度、ドラフト、燃料圧力、燃料消費量等を測定し、その値が規定の許容範囲内であることを確認する。なお、油だきはスモークスケールの有無を点検する。	1Y
g	熱交換器	
	①冷水及び冷却水の入口温度及び出口温度、溶液温度、溶液濃度、凝縮温度、蒸発温度等を測定し、その値が許容範囲内であることを確認する。	1Y
	②不凝縮ガスの混入及び冷却管の汚れの有無を点検する。	1Y
12	真空機密	
a	抽気ポンプ	
	①起動時に固着及び異音がなく、抽気能力に異常のないこと	6M

	を確認する。	
b 抽気系統	②ベルトの張りの良否及び油面の適否を点検する。 抽気用弁を手動で全開にし、真空計の変化から開通していることを確認する。	6M 6M
c パラジウムセルユニット	パラジウムセル部の焼損及び劣化度を点検する。	6M
d リーク試験	抽気ポンプで機内に不凝縮ガスのないことを確認する。	6M
13 冷媒及び吸収材	①攪拌した溶液を適量採取し、腐食防止剤濃度及びアルカリ度が規定の許容範囲内にあることを確認する。 ②溶液に汚れのないことを確認する。	1Y 1Y
14 保存		
a 真空系統	内部真空度に降下のないことを確認のうえ保存する。	1Y
b 冷却水及び冷却水系統	満水又は乾燥の上保存する。満水保存の場合は、さび止め剤を既定の濃度まで注入する。	1Y
c 溶液希釈	シーズンオフ停止に入る時は、溶液が充分希釈されていることを確認する。	1Y

(2) パッケージ形空気調和機

- ① 「高圧ガス保安法」、「冷凍保安規則」及び「冷凍保安規則関係基準」に定めるところによる。
- ② 本項は、パッケージ形空気調和機に適用する。
- ③ パッケージ形空気調和機の点検項目及び点検内容は、表2による。

表2 (ヒートポンプ式パッケージ形空気調和機：シーズンイン、オフ点検)

点検項目	点検内容	周期
1 基礎・固定部	①亀裂、沈下等の有無を点検する。 ②固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みを点検する。 ③防振材、ストッパー等の劣化及び取付け状態を点検する。	6M 6M 6M
2 外観の状況	腐食、変形、破損等の有無を点検する。(室外機を含む。)	6M
3 冷房切替え	冷暖房兼用の場合は、補助電気ヒーター、加湿器の電源遮断をするとともに自動制御機器の切替え、作動確認を確実にを行う。	1Y
4 暖房切替え	補助電気ヒーター及び加湿器の電源投入並びに自動制御機器の切替え及び作動確認を行う。	1Y
5 水系統		
a 加湿用給水	①給水止弁の開閉を点検する。 ②漏れ及び汚れの有無を点検する。	1Y 1Y
b ドレンパン	汚れ、さび、腐食等の有無を点検する。	6M
c ドレン排水	本体のドレン排水確認を行い、支障のないことを確認する。	1Y
6 電気系統		
a 操作回路及び動力回路	絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	1Y
b 端子	緩み、変色及び損傷の有無を点検する。	1Y
c 操作盤	操作盤内の汚れ、異物の付着、緩み及び変形の有無を点検する。	1Y
d クランクケースヒーター	通電、発熱状態の異常の有無を点検する。	6M

7	送風機（室内機、室外機）		
a	Vベルト	弛み、亀裂、磨耗等の有無を点検する。	6M
b	軸受	異常音、異常振動等の有無を点検する。	6M
c	羽根	汚れ及び損傷等の有無を点検する。	6M
d	電動機	回転方向が正しいことを確認する。	1Y
8	エアフィルター		
a	ろ材	詰まり、損傷等の有無を点検する。	6M
b	枠	変形、腐食等の有無を点検する。	6M
9	冷媒系統	①ガス漏れの有無を点検する。 ②配管の損傷等の有無を点検する。	6M 6M
10	熱交換器（室内機、室外機）	①フィンコイル及び凝縮器の汚れ、損傷等の有無を点検する。 ②補助ヒーターの汚れ、損傷等の有無を点検する。	6M 1Y
11	加湿器	①作動の良否を点検する。 ②汚れ、損傷等の有無を点検する。	6M 6M
12	保安装置		
a	インターロック	室内送風機運転と補助電気ヒーターの作動の良否を点検する。	1Y
b	圧力開閉器	作動の良否を確認する。	1Y
c	可溶栓又は安全弁	ガス漏れ及び変形の有無を確認する。	6M
d	温度ヒューズ	溶断、変形及び変色の有無を点検する。	1Y
e	過熱防止器	作動の良否を確認する。	1Y
f	圧力計	指示値が正常であることを確認する。	6M
13	自動制御装置	①温度調節器、湿度調節器、タイマー制御、圧力制御、容量制御等が設定値で作動することを確認する。 ②除霜装置の検知作動及び四方弁動作の良否を確認する。	1Y 1Y
14	運転調整		
a	音及び振動	異常のないことを点検する。	6M
b	電源電圧	①供給電源電圧に異常のないことを確認する。 ②運転時における電圧変動が、規定値内にあることを確認する。	1Y 1Y
c	運転電流	①主電流及び圧縮機電流が定格以下にあることを確認する。 ②補助電気ヒーターの電流が定格値にあることを確認する。	1Y 1Y
d	冷凍機油	劣化及び油量の適否を点検する。	1Y
e	熱交換状況	冷媒、室外機及び室内機吹出し空気の温度等を点検し、熱交換状況が正常であることを確認する。	1Y
f	除霜装置	検知作動及び四方弁動作の良否を点検する。	1Y

(3) ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機

- ① 「高圧ガス保安法」、「冷凍保安規則」及び「冷凍保安規則関係基準」に定めるところによる。
- ② 本項は、ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機に適用する。
- ③ ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機の点検項目及び点検内容は、表2及び表3による。

表3（ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機：ガスエンジン点検）

点検項目	点検内容	周期
1 外観の状況	腐食、変形、破損等の有無を点検する。	1Y
2 エンジンオイル	オイルの漏れ、変色等の有無を点検する。	1Y
3 バルブクリアランス	バルブクリアランスを点検する。	1Y
4 冷却水	①冷却水の漏れ及び汚れの有無を点検する。	1Y
	②冷却水の液量を確認する。	1Y
5 オイルフィルター	交換時期に達していないことを確認する。	1Y
6 エアークリーナー	汚れの有無を点検する。	1Y
7 点火プラグ	交換時期に達していないことを確認する。	1Y
8 ドレンフィルタ充填石	量が適正であることを確認する。	1Y
9 圧縮機駆動用ベルト	弛み、亀裂、磨耗等の有無を点検する。	1Y
10 発電機駆動用ベルト	弛み、亀裂、磨耗等の有無を点検する。	1Y
11 プロバイフィルター	交換時期に達していないことを確認する。	1Y
12 燃料ガス系統	燃料ガスの漏れの有無を点検する。	1Y

(4) 冷却塔

- ① 建物の屋上に設置された冷却塔は、「建築基準法施行令」に基づく告示に定めるところによる。
- ② 冷却塔の点検項目及び点検内容は、表4による。

表4 (冷却塔：シーズンイン・オフ点検)

点検項目	点検内容	周期
1 基礎・固定部	①亀裂、沈下等の有無を点検する。	1Y
	②固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みを点検する。	1Y
	③防振装置の損傷等の有無を点検する。	1Y
	④防振ストッパーの弛み及び劣化の有無を点検する。	1Y
2 外観の状況		
a 本体	損傷、変形及び汚れの有無を点検する。	6M
b 散水装置	①損傷、変形、さび及び汚れの有無を点検する。	6M
	②散水穴の目詰まりの有無を点検する。	6M
	③散水管の回転が円滑であることを確認する。	6M
c 熱交換器	コイルの汚れ、損傷等の有無を点検する。(密閉式のものに 限る。)	6M
d エリミネーター	損傷、変形及び目詰まりの有無を点検する。	6M
e ルーバー	損傷、変形及び目詰まりの有無を点検する。	6M
f 充填材	①スケール等の付着の有無を点検する。	6M
	②目詰まりの有無を点検する。	6M
	③座屈、変形等の有無を点検する。	6M
g 骨組み及び脚	①損傷、変形等の有無を点検する。	6M
	②固定金具の劣化及び組立ボルトの緩みの有無を点検する。	6M
h 梯子及び点検扉	損傷、変形、腐食等の有無を点検する。	6M
3 水槽		
a 本体	①内外面の損傷、変形及び汚れの有無を点検する。	6M
	②水漏れの有無を点検する。	6M

		③水位が規定の位置にあることを確認する。	1Y
b	給水装置	ボールタップ等が確実に作動することを確認する。	6M
c	ストレーナ	目詰まり、損傷等の有無を点検する。	6M
d	フレキシブルジョイント	接続部の弛み、腐食等の有無を点検する。	6M
4	送風機		
a	羽根車	①損傷、腐食、汚れ等の有無を点検する。	6M
		②回転に支障のないことを確認する。	6M
b	ファンケーシング	損傷、腐食等の有無を点検する。	6M
c	軸受	①軸が円滑に回転することを確認する。	6M
		②油量の適否を点検する。	1Y
d	電動機	①損傷、腐食等の有無を点検する。	1Y
		②円滑に回転することを確認する。	6M
		③絶縁抵抗値を測定し、その良否を点検する。	1Y
e	ベルト	①張り具合の適否を点検する。	6M
		②損傷及び磨耗の劣化の有無を点検する。	6M
f	プーリー	損傷及び磨耗の劣化の有無を点検する。	6M
5	散水ポンプ（密閉型のものに限る。）		
a	本体	汚れ、損傷、腐食等の有無を点検する。	6M
b	電動機	①絶縁抵抗を測定し、その良否を点検する。	1Y
		②回転方向が正しいことを確認する。	1Y
		③電流が定格値内であることを確認する。	1Y
6	凍結防止装置	①サーモスタットが設定値で作動することを確認する。（設置されている場合に限る。）	1Y
		②ヒーターの作動電流が定格電流以下にあることを確認する。	1Y
		③ヒーターの絶縁抵抗値を測定し、その良否を確認する。	1Y
7	運転調整	①電動機の回転方向が正しいことを確認する。	1Y
		②音及び振動に異常のないことを確認する。	1Y
		③電源電圧の変動が規定値にあることを確認する。	1Y
		④運転電流が規定値以下であることを確認する。	1Y
		⑤散水管の回転数が許容範囲内にあることを確認する。	1Y
		⑥散水が均一に分散していることを確認する。	1Y
		⑦水槽の水位が運転前及び運転の状態で規定値内にあることを確認する。	1Y
8	シーズンオフ時の保存	機器内の水を完全に抜いたうえ保存する。	1Y

(5) ユニット形空気調和機

- ① 「建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行規則」及びこれに基づく厚生労働省告示に定めるところによる。
- ② ユニット形空気調和機の点検項目及び点検内容は、表5による。

表5 (ユニット形空気調和機：シーズンイン点検)

点検項目	点検内容	周期
1 基礎・固定部	①亀裂、沈下等の有無を点検する。 ②固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みを点検する。 ③防振材、ストッパー等の劣化及び緩みの有無を点検する。	1Y 1Y 1Y
2 外観の状況		1Y
a 本体	損傷、変形及び汚れの有無を点検する。	1Y
b 保温材及び吸音材	損傷及び脱落の有無を点検する。	1Y
3 送風機		1Y
a 羽根車	①汚れ、さび、腐食等の有無を点検する。 ②回転バランスの良否を点検する。	1Y 1Y
b シャフト	汚れ、さび、磨耗等の有無を点検する。	1Y
c ベルト	弛み、磨耗、損傷等の有無を点検する。	1Y
d プーリー	磨耗等の有無を点検する。	1Y
e 軸受	①異常音、異常振動等の有無を点検する。 ②給油の状態を点検する。	1Y 1Y
f カップリング	磨耗、損傷等の有無を点検する。	1Y
g 電動機	①絶縁抵抗を測定し、その良否を点検する。 ②回転方向が正しいことを確認する。 ③電流が定格値内であることを確認する。	1Y 1Y 1Y
4 熱交換機	冷温水コイル、蒸気コイル等の汚損、腐食、損傷等の有無を点検する。	1Y
5 加湿器	①加湿ノズルの詰まりの有無を点検する。 ②作動の良否を点検する。	1Y 1Y
6 エリミネーター	詰まり、腐食等の有無を点検する。	1Y
7 水系統		
a ドレンパン	汚れ、さび、腐食等の有無を点検する。	1Y
b ドレン排水	本体のドレン排水確認を行い、詰まりのないことを確認する。	1Y
8 エアフィルター		
a ろ材	詰まり、損傷等の有無を点検する。	1Y
b 枠	変形、腐食等の有無を点検する。	1Y
9 運転調整	①運転電流が定格以下であることを確認する。	1Y

(6) ポンプ

- ① 本項は、空調用ポンプ、ボイラー給水ポンプ、真空給水ポンプユニット及びオイルポンプに適用する。
- ② ポンプの点検項目及び点検内容は、表6による。

表6 (ポンプ)

点検項目	点検内容	周期
1 基礎・固定部	①固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みの有無を点検する。 ②防振材、ストッパー等の劣化及び緩みの有無を点検する。	6M 6M

2 外観の状況	①腐食、損傷及び漏洩の有無を点検する。	6M
	②軸継手ゴムの損傷等の有無を点検する。	6M
3 電動機	③ポンプの吸込圧力及び吐出し圧力が許容範囲内にあることを確認する。	6M
	④軸封の漏水状態を点検する。	6M
	①外部より調査できる場合は、発熱の異常の有無を点検する。	6M
	②回転方向が正しいことを確認する。	1Y
4 圧力計、連成計又は真空計	③絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	6M
	④運転電流が、定格値以下であることを確認する。	6M
	①腐食及び損傷の有無を点検する。	1Y
5 運転調整	②指示値が適正であることを確認する。	1Y
	①運転時における電圧変動が規定値内であることを確認する。	1Y
	②運転電流が定格以下であることを確認する	1Y

(7) 全熱交換器

- ① 本項は、天井隠ぺい形全熱交換器ユニットに適用する。
- ② 全熱交換器の点検項目及び点検内容は、表7による。

表7 (全熱交換機)

点検項目	点検内容	周期
1 固定部	①亀裂等の有無を点検する。	1Y
	②固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みを点検する。	6M
2 外観の状況		
a 本体及び点検口	さび、腐食、変形、破損等の有無を点検する。	1Y
b フィルター	詰まり、損傷等の有無を点検する。	3M
c 保温材	破損の有無を点検する。	1Y
3 熱交換エレメント		
a 軸受	①異常音、異常振動等の有無を点検する。(回転形に限る。)	6M
	②給油の状態を確認する。(回転形に限る。)	6M
b エレメント	①詰まり、損傷等の有無を点検する。	6M
	②回転バランスの良否を点検する。(回転形に限る。)	6M
c エアシール	異常磨耗、破損等の有無を点検する。(回転形に限る。)	6M
d 駆動装置	ベルト又はチェーンの緩み、損傷等の有無を点検する。(回転形に限る。)	6M
e ケーシング	汚れ、さび、腐食等の有無を点検する。	1Y
4 送風機	異常音、異常振動等の異常の有無を点検する。	1Y
5 電気系統		
a 電源電圧	電圧の変動が規定値内にあることを確認する。	1Y
b 電動機	①絶縁抵抗を測定し、その良否を点検する。	1Y
	②表面温度の異常の有無を点検する。	1Y

	③電流が定格値内であることを確認する。	6M
	④オイルシールの油漏れの有無を点検する。	1Y
c リレー	作動の良否を確認する。(回転形に限る。)	6M
d 端子部	緩み、変色、溶損等の有無を点検する。	1Y

(8) オイルタンク (地下式オイルタンク、地上式オイルタンク、オイルサービスタンク)

- ① 「消防法」、「危険物の規制に関する政令」及び「同規則」、地方条例の定めるところによる。
- ② オイルタンクの点検項目及び点検内容は、表 8-A から表 8-C による。

表 8-A (地下式オイルタンク)

点検項目	点検内容	周期
1 基礎		
a 上部スラブ	亀裂、崩没、沈下等の有無を点検する。	1Y
b マンホール	①パッキン及びその当り面の損傷並びに密閉状態の良否を点検する。	1Y
	②プロテクター内部の汚れ、滞水、滞油及び蓄積物の有無を点検する。	1Y
2 本体	①ガス加圧法、液体加圧法、微加圧法、微減圧法、その他直径 3mm 以下の開口部又は当該開口部からの漏れを検知できる方法により、気相部、液送部とも漏れの有無を点検する。	1Y
	②残量の測定又は漏洩検査管により漏れの有無を点検する。	1Y
	③割れ、損傷、腐食等の有無及び沈殿物等の汚れの有無を点検する。	1Y
3 配管	ガス加圧法、液体加圧法、微加圧法、微減圧法、その他直径 3mm 以下の開口部又は当該開口部からの漏れを検知できる方法により、気相部、液送部とも漏れの有無を点検する。	1Y
4 通気口	①取付け状態の良否を確認する。	1Y
	②引火防止網の脱落、腐食及び目詰まりの有無を点検する。	1Y
5 標識及び提示板	汚れの有無を点検し、表示が明瞭であることを確認する。	1Y
6 消火器	設置場所、数及び交換時期を確認する。	1Y

表 8-B (地上式オイルタンク)

点検項目	点検内容	周期
1 基礎・固定部	①基礎及び防油堤の亀裂、沈殿等の異常の有無を点検する。	1Y
	②防油堤の油だまりのごみ又は堆積物の有無を点検する。	1Y
	③架台の曲り、さび、損傷等の有無を点検する。	1Y
	④基礎ボルト、取付けボルト、固定金具等の緩み、損傷等の有無を点検する。	1Y
	⑤配管指示部の取付け状態の良否を点検する。	1Y
2 外観の状況	①損傷、腐食等の有無を点検する。	1Y
	②漏れの有無を確認する。	1Y

3	管及び弁		
a	管	①漏れ、損傷、腐食等の有無を点検する。	1Y
		②緩衝装置の取付け及び機能の良否を点検する。	1Y
b	弁	作動の良否及び損傷の有無を確認する。	1Y
4	付属品		
a	油面計	損傷の有無及び指示が正しいことを確認する。	1Y
b	注油口	①変形、損傷及び漏れの有無を点検し、蓋の閉鎖状態に異常がないことを確認する。	1Y
		②注油口において油量の測定が不可能なものは、遠隔式計量装置又は自動式警報装置が設けられていることを確認する。	1Y
c	通気口	①取付け状態の良否を点検する。	1Y
		②引火防止網の脱落、腐食及び目詰まりの有無を点検する。	1Y
d	はしご及び点検扉	取付け状態の良否を点検する。	1Y
5	標識及び掲示板	汚れの有無を点検し、表示が明瞭であることを確認する。	1Y
6	消火器	設置場所、数及び交換時期を確認する。	1Y

表 8-C (オイルサービスタンク)

点検項目	点検内容	周期	
1	基礎・固定部		
	①基礎及び防油堤の亀裂の有無を点検する。	1Y	
	②架台の曲り、さび、損傷等の有無を点検する。	1Y	
	③基礎ボルト、取付けボルト、固定金具等の緩み、損傷等の有無を点検する。	1Y	
	④配管が正しく取付けられ、配管の荷重が接合部または本体にかからないよう平均に負担していることを確認する。	1Y	
2	外観の状況		
	①損傷、腐食等の有無を点検する。	1Y	
	②漏れの有無を確認する。	1Y	
3	管及び弁		
a	管		
	①漏れ、損傷、腐食等の有無を点検する。	1Y	
	②緩衝装置の取付け及び機能の良否を点検する。	1Y	
b	弁	作動の良否及び損傷の有無を確認する。	
4	計器		
	①汚れ及び損傷の有無を点検する。	1Y	
	②正常値を示していることを確認する。	1Y	
	③固定の良否を点検する。	1Y	
5	液面制御装置 (フロートスイッチ)		
	①フロートの浸水、損傷等の有無を確認する。	1Y	
	②フロートの上下によりポンプ及び警報の電源が入・切し、その位置が許容範囲にあることを確認する。	1Y	
6	警報装置・電極スイッチ		
	①電極棒の異物付着の有無及び伸縮の状態を点検する。	1Y	
	②作動の良否を点検する。	1Y	
7	通気口	取付け状態の良否を点検する。	1Y
8	はしご及び点検扉	取付け状態の良否及びさび、腐食等の有無を点検する。	1Y
9	標識及び掲示板	汚れの有無を点検し、表示が明瞭であることを確認する。	1Y
10	消火器	設置場所、数及び交換時期を確認する。	1Y

(9) ヘッダー及び密閉形隔膜式膨張タンク

- ① 「労働安全衛生法」及び「ボイラー及び圧力容器安全規則」に定めるところによる。
 ② ヘッダ及び密閉形隔膜式膨張タンクの点検項目及び点検内容は、表9による。

表9 ヘッダー、密閉形隔膜式膨張タンク (年次点検)

点検項目	点検内容	周期
1 基礎・固定部	①基礎の亀裂、沈殿等の有無を点検する。	1Y
	②架台の曲り、さび、損傷等の有無を点検する。	1Y
	③基礎ボルト、取付けボルト。固定金具等の緩み、損傷等の有無を点検する。	1Y
	④配管支持部の変形の有無を点検する。	1Y
2 外観の状況	①損傷、腐食等の有無を点検する。	1Y
	②漏れの有無を点検する。	1Y
	③蓋の取付け状態の良否及びボルトの磨耗、腐食、損傷等の有無を点検する。	1Y
	④保温材の脱落、損傷等の有無を点検する。	1Y
3 圧力計・水高計及び温度計	①正常値を指示していることを確認する。	1Y
	②取付け部の漏れの有無を点検する。	1Y
	③汚れ及び損傷の有無を点検する。	1Y
4 付属管及び弁		
	a 逃し管	①漏れ、汚れ、損傷、腐食等の有無を点検する。 ②保温材の脱落及び損傷の有無を点検する。
b その他の管	漏れ、損傷、腐食等の有無を点検する。	
c 安全弁及び逃し弁	①取付けボルトの緩みを点検する。	1Y
	②漏れの有無を点検する。	1Y
	③テストレバーのあるものは、作動テストをする	1Y
d その他の弁	漏れ、損傷等の有無及び作動の良否を点検する。	1Y

(10) 開放型膨張タンク

開放型膨張タンクの点検項目及び点検内容は、表10による。

表10 開放型膨張タンク

点検項目	点検内容	周期
1 基礎・固定部	①基礎の亀裂、沈殿等の有無を点検する。	1Y
	②架台の曲り、さび、損傷等の有無を点検する。	1Y
	③基礎ボルト、取付けボルト。固定金具等の緩み、損傷等の有無を点検する。	1Y
	④配管支持部の変形の有無を点検する。	1Y
2 外観の状況	①損傷、腐食等の有無を点検する。	1Y
	②漏れの有無を点検する。	1Y
	③保温材の脱落、損傷等の有無を点検する。	1Y
3 内部の状況	①付着物及び堆積物の有無を点検する。	1Y
	②内部の保護塗装の剥離等の有無を点検する。	1Y
4 管及び弁		

a	管	漏れ、汚れ、損傷、腐食等の有無を点検する。	1Y
b	弁	漏れ、損傷等の有無及び作動の良否を点検する。	1Y
5	付属品		
a	はしご及び点検扉	取付けの良否及びさび、腐食等の有無を点検する。	1Y
6	液面制御装置		
a	ボールタップ	①フロートの浸水、損傷等の有無及び作動の良否を点検する。 ②給水停止状態での漏水の有無及び水位の適否を点検する。	1Y 1Y
b	フロートスイッチ	①フロートの浸水、損害等の有無を点検する。 ②フロートの上下により電源が入・切し、その位置が規定の許容範囲内にあることを確認する。	1Y 1Y
c	電極スイッチ	①電極棒に異物付着の有無及び浸食の状態を点検する。 ②水位の上下により電源が入・切し、その位置が正常に作動することを確認する。	1Y 1Y